

## 平成29年度第2回役員会会議報告

日 時：平成30年2月16日（金） 13：30～17：00

場 所：岡山県立記録資料館

出席者：18名

○役員（13名）

定兼会長、角張副会長（石川代理）、佐藤副会長、辻川理事、  
人見理事（忍田代理）、島田理事、栗原理事、江端理事、早川理事、青木理事、  
田中監事、小川参与、小松参与

○随員（1名）

原田真由美（富山県）

○事務局（4名）

堀義和、上田直道、前田能成、近藤萌美

### 1 報告

(1) 平成29年度第1回役員会会議報告

すでに全史料協ウェブサイトに掲載済みのため省略。

(2) 平成29年度総会概要報告

会長事務局から報告。

(3) 第43回全史料協全国（神奈川相模原）大会実施報告

大会・研修委員会事務局から報告。

(質問・意見等)

・大会テーマ研究会の第二部「公文書館法30年座談会」には、登壇者名を入れるべきではないか。

→了解した。

(4) 会員の現況及び平成29年度会費納入状況報告

会長事務局から報告。

・1月31日現在で、機関会員141機関、個人会員295名。8月31日現在と比較して、機関会員が2機関増（入会2機関）、個人会員が1名減（入会2名、退会3名）となった。入会された機関会員は、長岡市立中央図書館文書資料室と九州大学大学文書館。

会費納入状況は、個人会員が未納54件となっている。

(質問・意見等)

- ・未納会員委に対し督促するのか。
- 督促したい。

(5) 各事務局・委員会報告

各事務局より報告。特記事項は以下のとおり。

① 会長事務局

- ・アーカイブズ関係機関協議会への参加を報告。
- ・次期役員体制についての調整を行った旨報告。
- ・第23期会長機関を引き受けていただく寒川町町長を訪問したことを報告。
- ・第45回全国大会を引き受けていただく安曇野市と調整を行ったことを報告。
- ・全史料協のチラシ(案)を作成した旨報告。ホームページに掲載し利用していただくことを考えている。

② 副会長事務局

- ・第15回アーカイブズ関係機関協議会に参加、その概要を報告。(本年度は全史料協が事務局)
- ・国立公文書館からアーキビストの職務基準書の説明があった。

③ 大会・研修委員会

- ・第4回委員会において、大会の総括と次期沖縄大会に向けての議論を行った。
- ・全国大会参加者からのアンケート結果を報告。

④ 調査・研究委員会

- ・公文書館機能普及セミナーを市町村担当者研修会と兼ねて開催した。
- ・後援承認では、新たに「デジタルアーカイブズ学会第2回研究大会」と「国際研究交流集会『災害国におけるアーカイブズ保存のこれからー技術交流・危機管理から地方再生へー』」を後援したことを報告。
- ・災害関係では、大分県豪雨で林貴史氏を公文書レスキューの初期指導のために派遣したことを報告。

⑤ 広報・広聴委員会

- ・会誌と会報の発行状況を報告。
- ・平成29年度決算見込みにおいて委託料から印刷製本費への流用、及び平成30年度予算における会場借上料の計上等を報告。

- (各事務局・委員会報告への質問・意見等)
- ・チラシの内容・書き方等について意見があった。

(6) 地域担当理事報告

① 関東部会

- ・定例研究会及び運営委員会の開催状況について報告。
- ・会報誌の発行状況について報告。

② 近畿部会

- ・例会の開催状況等を報告。
- ・会誌の発行状況を報告。
- ・現在の会員数は、機関会員16機関、個人会員69名、合計85である。

(7) 平成29年度決算見込額について

- ・会場事務局から説明が行われた。
- ・収支決算は、総収入額9,390,798円、総支出額6,716,324円で差引が2,674,474円の残となり、この額が来年度への繰越となる。

2 協議

(1) 平成30年度事業計画案及び予算案について

① 平成30年度事業計画案

各委員会事務局から説明が行われた。

○会長事務局

- ・総会を平成30年6月14日、岡山県立記録資料館で開催予定。
- ・役員会を平成30年6月14日及び平成31年2月15日に開催予定。

○副会長事務局

- ・国際交流事務を実施する。

○大会・研修委員会

- ・沖縄大会へ向けての準備を行う。
- ・安曇野市職員が来市され、意見交換を行った。

○調査・研究委員会

- ・公文書館機能普及セミナーを開催予定。
- ・委員会で、ブログの再開について協議した結果、廃止で一致した。

○広報・広聴委員会

- ・委員会の開催と会誌・会報の発行を予定。

(各事務局・委員会への質問・意見等)

- ・調査・研究委員会から、災害対応について震度5から6へ情報の集約をあげる旨の発言があったが、震度5でも地域によっては災害が起きる。震度5で継続してはどうか。
- ・震度5で安全確認、震度6で被害確認ではどうか。
- ・阪神淡路大震災では同じ震度5でも被害が大きく異なったということで震度5弱と5強が新設された。(今は震度5というのはない。)福井県・鳥取県では、震度5強で自動的に災害対策本部が設置されるので、震度5強で安全確認することにしてはどうか。
- ・平成29年度は災害が多く、調査・研究委員会が対応した。今後も、同委員会を中心に対応を協議する。

② 平成30年度予算案

会長事務局から説明が行われた。

(2) 平成30年度第1回役員会・総会等について

会長事務局から日程等及び事務局スケジュールの説明が行われた。

(3) 平成30年度(第44回)大会開催場所について

会長事務局から説明が行われた。

(4) 全史料協表彰制度について

- ・調査・研究委員会から説明が行われた。
- ・今後、この規程案をベースに検討する。

(5) 第23期(2019・2020)役員体制と役員ローテーション等について

- ・会長から役員体制の状況について説明が行われた。
- ・役員ローテーションについても意見交換した。

(6) アーキビストの職務基準書について

会長から説明が行われた。

以上で会議は終了した。